

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む コロナ禍の中で、思うような内容はできなかったと思うが、そのなかでも「リモート学習」など臨機応変に対応することができていた。体づくりは、コロナ禍で大変であったと想像される。	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る 校長先生をはじめ、多くの先生方が、大変よく生徒たちと話やコミュニケーションを図ってくれているようでありがたいと思います。コロナで不安な生徒たちの心のケアをしつつ、教育や子どもたちの自己実現の意識を高めようと、よく取り組めていた。	4
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む コロナ禍で大変な中、地域のトンネルに、トンネルアートとして、地域の方と協力をして美術部員がペンキで絵を描き、地域が明るくなった。とても素晴らしい取り組みで、今後も地域との取り組みを、一緒にお願いをしたい。	4
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る 手洗い、うがいを毎日行い、給食でのパーテーション等、感染対策をしっかり行い、安全な教育環境をつくることができていた。また、1、17、そして、3、11では、防災意識を高める取り組みを行っていた。	3
■教育目標「自分を、そして、人を大切にしよう」～対話を大切にしたい学びあい～ 校長先生をはじめ、多くの先生方が、人を、そして周りの人を大切にしようとする姿勢を率先して行っているのが、子どもたちは、それに続いて頑張っている様子が見られます。	4
■研究テーマ「お互いに学びあう」～自分の考えを持ち、表現する力を～ コロナのなか、研究授業を行い、その後、教員で話し合う時間を持っていたことはすごいことである。	3
■	
評価項目（A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善）	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	A